

競争力のある地域内一貫牛肉生産を実現する哺育・肥育・流通体系の開発

| | |
|-----------|--|
| 〔分野〕 | 畜産 |
| 〔分類〕 | 実証研究型 |
| 〔研究代表機関〕 | （国）鹿児島大学（地域内一貫牛肉生産コンソーシアム） |
| 〔参画研究機関〕 | 鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場、JA鹿児島きもつき、（有）アグリーン鹿屋、デラバル（株）、（株）千里屋、肝属農業共済組合 |
| （普及担当機関） | 鹿児島県大隅地域振興局 |
| 〔研究・実証地区〕 | 鹿児島県鹿屋市・鹿屋市肝属町・霧島市、兵庫県伊丹市、北海道千歳市 |

I 目指す地域戦略と研究の背景・課題

1. 地域戦略の概要

肉用牛生産地帯である鹿児島県では、近年、肉用牛専業農家の規模拡大により和牛生産地を維持している。しかし、規模拡大に伴い子牛の事故や疾病も多発し、生産性の低下による一層の肥育素牛不足が懸念されている。そのため、規模拡大に応じた効率的な子牛生産による肥育素牛の安定供給が望まれている。肥育農家においては、収益性向上を目的に大規模化へ移行してきたが、経営費の多くを占める素牛や輸入穀類に依存する飼料費の高騰により収益性が悪化しており、肥育素牛や飼料の低コスト生産とともに地域内の連携により経済情勢に左右されない中長期的な戦略が必要である。

2. 研究の背景・課題

効率的な肉用牛生産を推進するためのICT技術など新技術を導入し、子牛の損耗防止を図り、規模拡大に意欲ある生産者が持続的な経営基盤強化を図る必要がある。また、肉用牛肥育は飼料の大半を輸入に依存し、飼料費高騰による経営が不安定となっている。このため、低コストかつニーズに沿った安心・安全な特色ある（差別化された）牛肉を効果的に生産することを目指し、地域内で生産された丈夫な子牛を地域内で低コストに供給される飼料原料で発酵TMR化し、省力管理による牛肉生産ができる競争力のある技術体系を確立する。

II 研究の目標

地域内で生産される子牛を損耗無く育成し、地域内原料を用いた肥育用飼料で肥育することで、地域内一貫牛肉生産の技術体系を開発する。

本研究により、子牛出荷日数10日短縮、子牛疾病率50%削減、肥育期の生産コスト30%減、肉質等級上物率（4等級以上）80%高付加価値牛肉のブランド化を研究目標としている。

III 研究計画の概要

1. 子牛の安定供給に関する研究

（1）自動畜舎環境システムによる高度管理技術の開発

哺育舎内の気温を自動計測し、暑熱と寒冷に応じて、舎内のファンおよび個別ストール内の赤外線保温ライトを自動稼働するシステムの開発と導入を行う。

（2）ICTを活用した子牛管理システムの開発

子牛の活動量計の開発を行い、取得されるバイタルデータによる子牛の状態を自動取得するシステムの開発を行う。

2. 地域における肥育飼料生産体制の確立に関する研究

地域内原料をもとに肥育用発酵TMRの安定的調製・供給技術を開発する。

3. 発酵TMR飼料による黒毛和種肥育技術の確立に関する研究

（1）発酵TMR給与が肥育に与える影響の調査

発酵TMR給与と肥育牛のルーメン性状、消化試験、血液生化学検査、枝肉調査による発酵TMR給与の評価を行う。

（2）発酵TMR給与による肥育実証調査

発酵TMR給与による20頭規模の肥育実証を行う。

4. 地域内一貫生産牛肉の流通・販売体制の構築

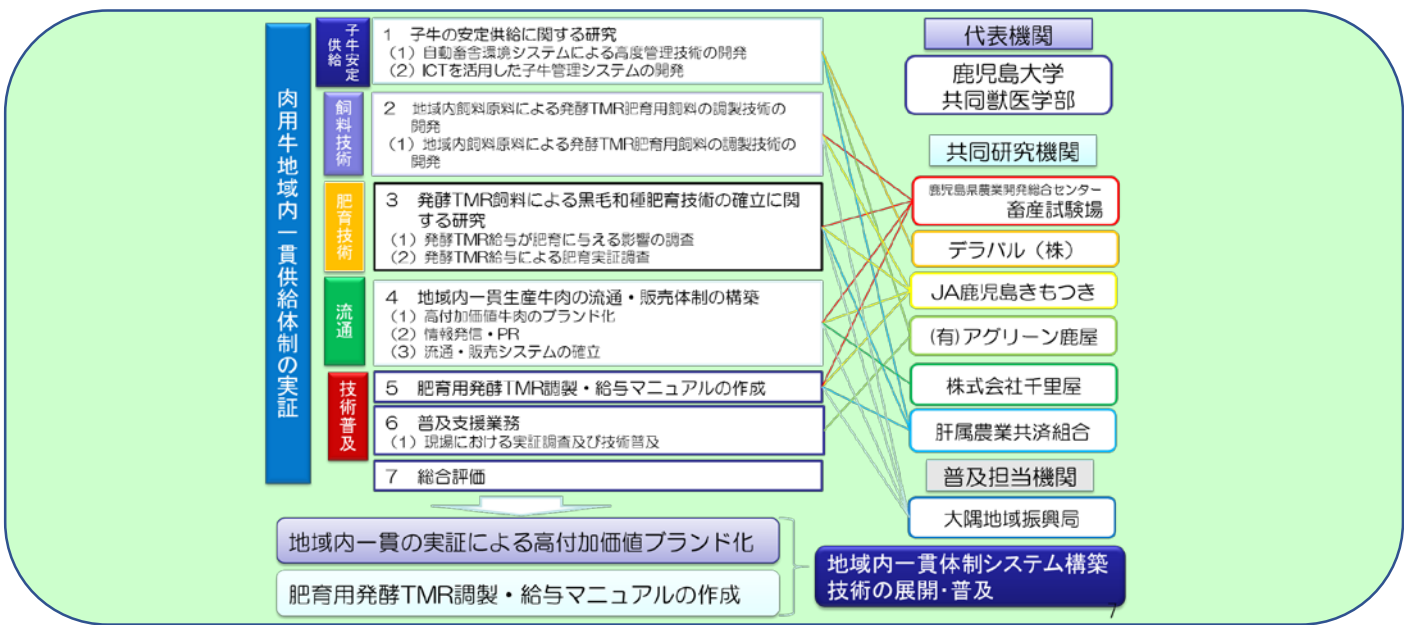
地域内一貫生産牛肉のブランド化とともに流通・販売体制を構築する。

5. 肥育用発酵TMR調製・給与マニュアルの作成

6. 総合評価

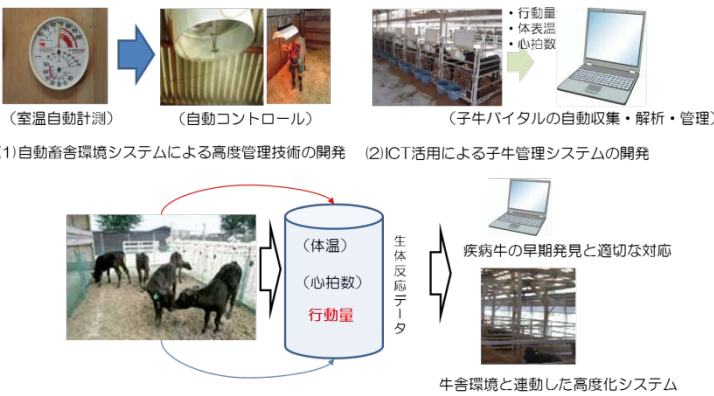
競争力のある地域内一貫牛肉生産を実現する哺育・肥育・流通体系の開発

地域で生産された子牛を地域内原料をもとにした飼料で肥育を行い、差別化した牛肉生産を行う。



1. 子牛の安定供給に関する研究

- 自動畜舎環境システムによる高度管理技術の開発
- ICTを活用した子牛管理システムの開発



2. 地域における肥育飼料生産体制の確立に関する研究



3. 発酵TMR飼料による黒毛和種肥育技術の確立に関する研究

- 発酵TMR給与が肥育に与える影響の調査
- 発酵TMR給与による肥育実証調査



4. 地域内一貫生産牛肉の流通・販売体制の構築

